

若手口腔外科医の皆さんへのお知らせ

若手口腔外科医委員会 委員長 岸 本 裕 充

若手口腔外科医の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

若手口腔外科医委員会では、将来の口腔外科医療を担う皆様を支援するために、昨年までと同様、本年も下記の「第8回 若手口腔外科医の優秀論文賞」の対象論文を募集します。

また、本年は、5月9日（土）、10日（日）に名古屋で「若手口腔外科医交流会第4回学術集会」の開催を予定しています。今後の学会ホームページや本誌の案内にご注目ください。

1. 第8回 若手口腔外科医の優秀論文賞（グリーンリボン賞）

若手口腔外科医の活躍を顕彰するために、学術大会時の論文表彰とは別に、若手口腔外科医委員会によって過去1年間における優秀論文を表彰いたします。若手口腔外科医の自薦により応募してください。なお、表彰者は若干名、賞金を準備します。また、表彰式は本年の総会・学術大会時に実施を予定し、来年の若手口腔外科医交流会での講演をお願いしています。

応募条件は以下のとおりです。 今回から、所属長による「応募条件の確認書」をHPからダウンロードしていただき、論文PDFとともに提出していただくことにしました。

- ・応募時点で口腔外科専門医資格を取得前の「若手」であること（年齢は問いません）。
- ・内外の英文学術誌に英文で掲載済みであること（なお、*“Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology”*に掲載された論文は、学術奨励賞の対象のため若手口腔外科医の優秀論文賞の対象外ですが、学術奨励賞については自薦の必要はございません）。
- ・論文掲載日が、2025年1月1日～12月31日であること。
- ・原著論文であること（研究分野は問いません）。
- ・同一著者が同時に複数の論文を応募することはできないこと。
- ・共同筆頭著者の論文は応募できないこと。
- ・オンラインと紙媒体での論文掲載日については、世の中に最初に出た日付けのものであること。

応募締切：2026年2月末

応募方法：事務局のメールアドレス（office@jsoms.or.jp）に論文PDFを添付して、「若手口腔外科医の優秀論文賞申請」の表題をつけて、メールにて応募してください。応募があった場合には、受理した旨の返事をメールにてお送りいたします。

2. 若手口腔外科医国内研修支援制度について

皆さんのが所属している病院、診療所以外の施設の口腔外科診療や手術を見学・診療体験してみたい方のために、若手口腔外科医国内研修支援制度を2019年から開始し、本年は8年目になります。学会ホームページの「事業案内」に、「若手口腔外科医国内研修支援制度」の欄があります。そこに、若手の訪問研修受け入れ可能な施設（口腔外科学会研修施設・准研修施設）の一覧表が掲載されています。

その一覧を参照の上、研修を希望したい施設がありましたら、その連絡先に、皆さんのが直接連絡をとっていただき、交渉をしていただきます（連絡先については、学会事務局のメールアドレス（kenshu-1@jsoms.or.jp）へお問い合わせください）。研修期間、研修条件、研修内容等、施設によって様々ですのでよくご検討ください。希望研修施設と交渉がまとまりましたら、ホームページ掲載の申請書書式を利用して申請書を作成の上、学会事務局へ申請してください。申請締切は、2026年2月末及び6月末の年2回です。

申請について委員会で選考の上、研修補助金として学会から交通費等必要経費の一部を援助するものです（申請者全員が援助を受けるものではありません）。

なお、研修先の病院と関連する病院が近隣にある場合には、主たる研修先病院と関連病院の責任者が認めた場合に限り、研修期間内に複数の病院で研修することも可能とします。

また、この制度は、以前から皆さんのが先輩が一定期間他施設を訪問し、手術見学等していた個人的な研修を、資金面で本学会がサポートするものです。レジデントや医員などとして就職を斡旋するものではありません。所属先の上司と相談の上、相手施設と交渉し、研修が終われば本来の施設に戻るものです。

本制度によって口腔外科の人材交流と若手の育成を活性化していきたいと考えています。

皆さんの応募を心よりお待ちしています。